

2020 ネクステージアーティスト SENA さん 夢に向い一歩を記す

江戸川大学プロデュース！2021年11月3日、CDデビュー！



シンガーソングライター
のSENAさんが2021
年11月3日、江戸川大学プ
ロデュースによるメジャー
デビューを果たし、学園祭の
「駒木祭」で初ライブを行っ
た。デビュー曲の『magnet
(マグネット)』などを披露
し「9歳からプロのシンガー
ソングライターになるため

江戸川大学学生新聞

THE EDOGAWA TIMES

第116号
2022年1月27日(木)

取材／編集：学生記者クラブ
発行：江戸川大学企画総務課

「ここがスタートライン」と意気込みを語る SENA さん

に活動してきたので、ここ
がスタートラインだと思っ
て頑張っていきたい」と力
強く宣言した。
SENAさんは6歳でピ
アノを始め、9歳から独学
で作詞・作曲と弾き語り
を始めた。高校生だった
2020年に参加した江戸
川大学主催の江戸川ガール
ズアワード(EGA)「ガー
ルズバンド&ソロオーデ
ィション」でグランプリに輝
き、デビューに向けて準備
を積んできた。
EGAは、企画から運営
まで経営社会学科の音楽・
ファッションビジネスコー
スの2、3年生が手掛ける。
イベントの核となる「ガー



デビュー曲『magnet』を歌う SENA さん

ルズバンド&ソロオー
ディション」は2021
年で3回目を迎え、プロ
ジェクトはグランプリ受
賞者のデビューにまで及
ぶ。
産学連携の取組
SENAさんのデ
ビュープロジェクトはア
イビーレコード代表取締
役の酒井善貴氏、音楽プ
ロデューサーのYANAGI
GIMAN氏の協力を得
て、2021年2月にス
タート。小倉淳客員教授
の指導の下、ゼミ生が営
業進行、楽曲制作、ア
イビーレコード社内



アイビーレコード社内ではプレゼンする学生たち

ンの4つのチームに分かれ取
り組んだ。
SENAさんは2021年
5月初旬までに10曲以上を
書き上げて提出。「引き寄せ
あつて、時には反発しあう男
女の心境を描いた曲」という
『magnet』はその中の1曲
だ。デビュー曲をサウンドプ
ロデュースしたYANAGI
MAN氏は「SENAさんは
声が細かったので、声を太く
するレッスンをした。プロに
なつてアルバムを作っていく
と、もっと良く変わっていく
と思う」と期待を寄せる。

学生たちと挑む

学生グループは各担当で大きな役割を果たした。楽曲制作チームはシングルのA面想定だった「テノヒラスノー

ドーム」をB面のカップリング曲に変更し、『magnet』をA面に持つてくる企画案をSENAさんや酒井社長に提案した。すでに7月に入



CDジャケットには江戸川大学のロゴが入っている

りレコーディングも終わっている段階で、プロジェクト全体に大きな影響を与える内容だったが、変更は受け入れられた。綿密な市場調査の結果、『magnet』が幅広い世代の共感を得るとの判断だった。

プロモーションチームは5月初旬から、デビューに先駆けて、YouTubeやティックトック用の動画の撮影を始め、6月から動画を毎週1本ずつアップしていった。7月下旬には、アイワークチームがCDジャケットのイ



構内でミュージックビデオを撮影

メージ案を作成して提案。スタイリストのアドバイスを受けた。ながら衣装合わせを進めた。

CDジャケット用の写真やミュージックビデオなどは、夏季休暇中に江戸川大学構内で撮影した。全チームの学生が集まり、室内と屋外の両方の撮影場所をセッティングし、コロナ対策をしながら限られた時間の中でやり遂げた。

9月にはタワーレコードやアマゾンのサイトでCD予約ができるようになり、プロモーションチームはインスタグラムなどで情報発信を続けた。できあがったCDが大学に到着。そして迎えた11月3日のデビューだった。

SENAさんは「日程を調整するのが難しかった。でも、学生さんは自分のことを一生懸命考えてくれた」とデビューまでの道のりを振り返り、『magnet』と『テノヒラスノードーム』を多くの方に聴いてもらえるとうれしい」と話した。

酒井社長は「学生さんはすごく一生懸命に取り組んでくれた。作ったものもしっかり

していたので、なんの不安もなくプロジェクトを進行できた。レコード会社が仕事で実際にやっていることに取り組むなかで、皆成長したと思う」と学生の努力を評価した。

11月3日のデビューライブは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、残念ながら観客・YouTube配信での開催となった。しかし第二体育館を会場にEGA実行委員会の学生が動き回り、10月から会場づくりやリハーサルを繰り返してきた一大イベントを成功させ



産学連携で力を合わせた一大プロジェクト（前列左から小倉淳先生、関根直樹先生、YANAGIMAN氏、SENAさん、酒井善貴氏、津久井智子さん、大塚寛樹先生、後列は学生たち）

た。（撮影・取材・文：小島大翔、馬場彩香、和田葉奈）